

～ 令和2年度 行政座談会 ～

令和2年11月、12月

～第5次長期総合計画を振り返って～

平成23年度～令和2年度までの10年間

- ・第5次長期総合計画は、口蹄疫からの復興を強く意識し取り組んできました。結果、畜産農家戸数は5割強、飼育頭数は約6割に回復、販売額は口蹄疫以前の水準を超えています。
- ・子育て世帯や夫婦世帯から選ばれる町になってきています。
- ・直近では、新型コロナウイルス対策の支援を行っています。

第5次長期総合計画を踏まえ、

第6次長期総合計画の策定を現在進めています。

この町の“気質”から生まれる“品質”



KAWAMINAMI
QUALITY

MADE in JAPAN - MADE by KAWAMINAMI PERSONALITY

川南町では、農業・畜産・漁業の全てが盛んである。
また、川南町は日本三大開拓地のひとつに数えられ、日本全国から農業を志す人々が集い拓かれた。

その精神は、この土地に今もなお根付いており、この町の住人には「**こだわりの強い**」「**職人氣質的**」人材が多い。

そんな気質ある町の人々が作り出す町の産物は、どれも質が高い。

人口減少対策

移住・定住を積極的に進めています。

4年連続で政策による転入者は県内の町村で1番！！

関東・関西の移住相談会でアピール

『 川南をPRする。体験する。移住する等段階的な支援を行っています。 』

- ▶ 川南を知ってもらうための移住・定住特設サイトを創設（川南合衆国）
- ▶ 川南での生活を体験していただく。宿泊の支援（お試し滞在施設の開設）
- ▶ 県外から川南へ移住した方の支援
- ▶ 川南の事業所に勤務（正規雇用者）された方の支援（家賃補助）
- ▶ 結婚を機に移住された方の支援（新婚家庭家賃補助及び通勤手当）
- ▶ 家を購入・建設された方の支援（50万～100万円 年齢制限あり）

子育て支援策

子育て支援を積極的に進めています。

子育て世代が次々に定住（持家を取得）しています。

『川南でゆっくり子育てしましょ。川南合衆国子育て情報誌「コソダテ」をご覧ください。』

- ▶ 子供が欲しい家庭に一般不妊治療の助成
- ▶ 子供が欲しい家庭に特定不妊治療の助成
- ▶ 共働きで子供を預けたい家庭に保育料を軽減
- ▶ 子育て世代の医療費負担を軽減するため18歳までの医療費について助成
- ▶ 高校に通う子供を持つ世帯に就学支援金を助成
- ▶ 駅を利用する通学生に駅までの無料シャトルバスを運行

防災危機管理

南海トラフ巨大地震

発生する確率：70% ～ 80% （今後30年間の間）

川南町最大震度：7（M9）

最大津波高：13m

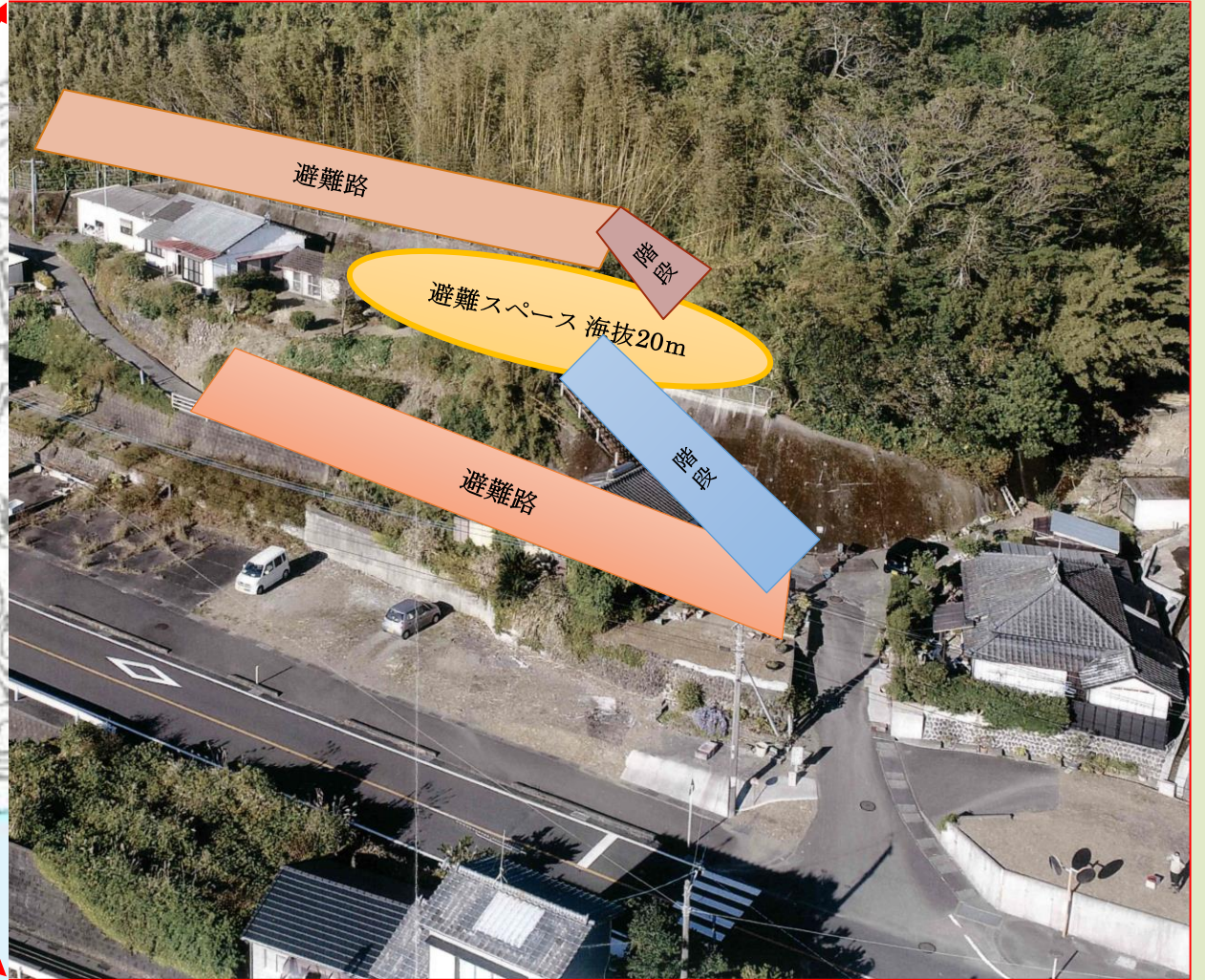
第1波到達時間：地震発生から20分

津波浸水想定区域：通浜・伊倉・浪掛・松原・菅原地区

※日頃から、避難する場所を考えておきましょう。

- ➡ **国土強靱化計画の策定（令和元年度策定）**
- ➡ **行政防災無線の再整備（平成30年6月から令和3年3月まで）**
- ➡ **通浜地区の新しい避難場所を確保・整備**
- ➡ **消防団の機能強化（車両の更新、機材の充実）**

通浜地区避難路整備事業



新型コロナウイルス感染症への支援と対策

▶ 特別定額給付金（一人当たり10万円）	15億5680万円
▶ 子育て世帯支援金（中学生以下の子育て世帯1万円/人）	2172万円
▶ 学校給食費無償化事業（給食費の一部を補填）	3457万円
▶ 特産品送料助成金（まちの産品を発送する際の送料を無料化）	858万円
▶ マイナポイントプレミアムポイント付与事業（地域通貨“トロン”）	1100万円
▶ 公立学校情報通信ネットワーク環境施設整備（学校のネットワーク構築）	6220万円
▶ GIGAスクール構想に係るタブレット端末整備事業	2794万円
▶ 町全域をカバーする光ケーブル網の整備	1億1000万円
その他多数ある事業も含め総額で	19億5847万円

新型コロナウイルス感染症対策

定期的換気、マスク着用、3密回避（密接、密集、密閉）、手洗い消毒、体調管理検温徹底
 毎月1日 「新しい生活様式実践 ガイドライン一斉点検の日」

まちを魅せる “シティプロモーション”

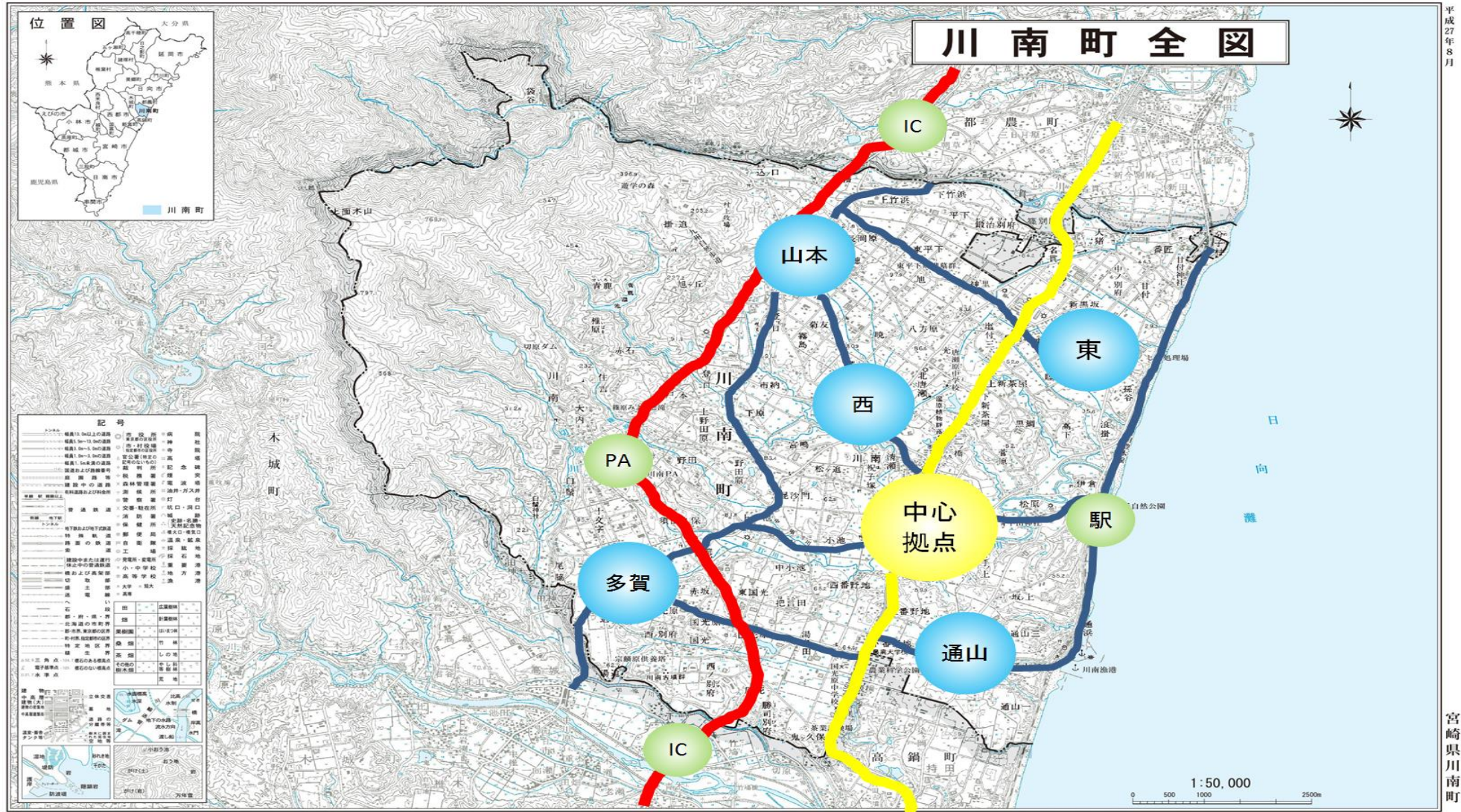
「川南町の旅」、「川南合衆国」、「旅色」



その他の報告事項（令和元年度～令和2年度上半期）

- ➡ ふるさと納税基金（令和2年5月末現在高 約850,000千円）
- ➡ 住民税納税率の向上・維持
- ➡ 住民票等のコンビニ交付を開始
- ➡ 番野地保育所を民営化、中央保育所を保育行政の調整役として運営
- ➡ 施設園芸の後継者確保のためのトレーニングハウスの設置
- ➡ 地域公共交通としてのコミュニティバスの運営、充実
- ➡ 公立学校の冷房設備完全設置

中心拠点と各自治公民館を中心とする地域拠点構想



「この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図50000(地図画像)及び電子地形図25000を複製したものである。(承認番号 平27情保 第300号)」

中心拠点

町の中心地に「教育、文化、スポーツ、福祉施設」を整備して
多世代が集い「自然と交流するまちづくり」を目指していきます。

- (1) 総合福祉センターの整備（役場北側敷地内に建設）
令和4年度に施設供用開始
 - (2) 運動公園の整備
テニス場再整備（令和元年度オムニコートに屋外4面改修済）照明のLED化
令和9年度宮崎国体開催予定（川南町：野球・トライアスロン）
 - (3) 中学校の統廃合による施設整備及び周辺の施設整備
 - (4) 各施設間の道路歩道整備（安全にジョギング、ウォーキングの行える環境）
- ☆ 中心施設で自然と歩いている環境の整備、健康活動を推進していきます。

地域拠点

**町内6箇所の自治公民館を地域拠点として、
居心地の良い場所、自然と町民が集う環境を目指していきます。**

- (1) 各地区の自治公民館を地域の拠点として位置付けしています。
地域の人たちが気軽に集う環境整備を行います。
- (2) 川南PA地域活性化拠点施設（施設の名称：かわみなみ P L A T Z（ぷらっつ）
町内物産の販売とまちの情報の発信拠点として施設の存在価値を高めていきます。
新型コロナウイルスの影響を受けていますが、売上げは黒字で推移しています。
- (3) 将来的には、各自治公民館を中心とする地域拠点と中心拠点を「地域公共交通」で
往来できるようにしていきたいと考えています。

かわみなみ PLATZ（ぷらっつ）の整備 （令和2年グランドオープン）



総合福祉センターの整備計画

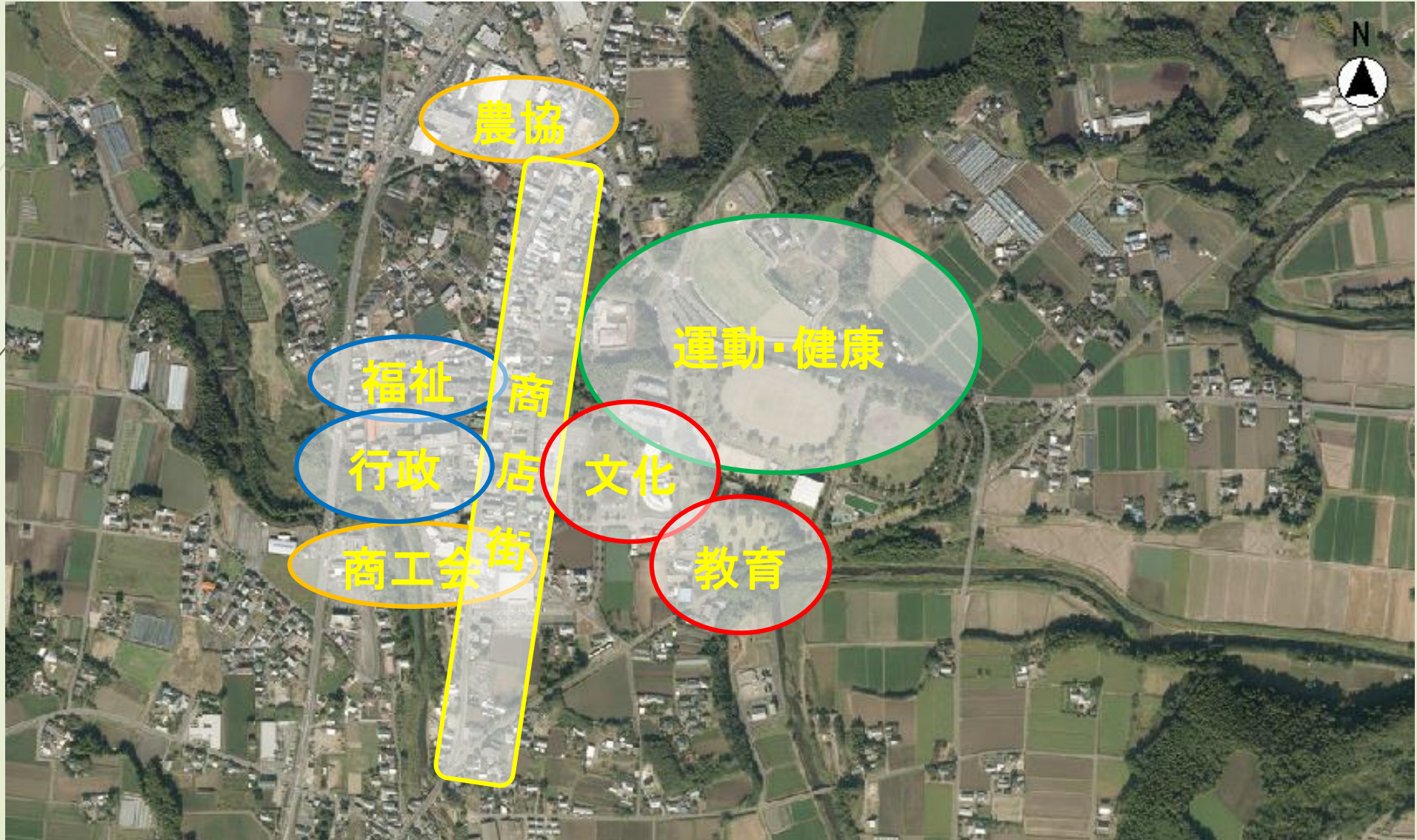
(令和4年供用開始予定)



**子供たちに「魅力ある教育環境」を提供するため、
本町の中学校2校を一つに統合します。**

令和を生きるこれからの子供たちに、「夢に挑み、
学び続ける学校」、「仲間とともに切磋琢磨する
学校」、「地域とつながり、地域とともに歩む学
校」、そして、今日が楽しく明日が待たれる「誰
もが行きたくなるような魅力ある学校」、そのよ
うな活気にみちて特色のある中学校教育の実現を
目指していきたいと考えています。

中心拠点のまちづくり



子供の数の推移

	平成8年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
唐瀬原中学校	483人	278人	290人	295人	292人
国光原中学校	336人	176人	192人	164人	164人
町内中学生	819人	454人	482人	459人	456人

17

	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
唐瀬原中学校	284人	286人	273人	253人	225人
国光原中学校	161人	169人	154人	137人	122人
町内中学生	445人	455人	427人	390人	347人

	令和11年度	令和12年度	令和13年度	令和14年度	令和15年度
唐瀬原中学校	217人	202人	200人	186人	令和2年度生まれ?
国光原中学校	109人	111人	106人	114人	?
町内中学生	326人	313人	306人	300人	?

新中学校建設の検討について（経緯）

■ これまでの経緯

- 平成28年7月 各小学校で座談会を開催
- 〃 11月 学校再編に関するアンケートを実施
- 平成29年1月 第2回座談会を実施
- 平成31年3月 学校規模適正化審議会答申
「総合的に判断して両中学校の統廃合はやむを得ない。」
- 令和2年10月 第1回学校再編検討委員会、第1回臨時PTA会長会を開催

■ 新中学校の開校時期

- 新中学校開校予定 令和8年度開校
- 新中学校の予定規模 1学年4クラスの全12クラス編成

再編後の 中学校	学年	1年生	2年生	3年生	計
	人数	125人	151人	151人	427人
	学級	4クラス	4クラス	4クラス	12クラス

新中学校建設の候補地について ①

案1 唐瀬原中学校

建物敷地 29,086㎡ 運動場面積 28,654㎡

教室棟築年数 36年～55年（令和8年4月時点）

案2 国光原中学校

建物敷地 24,210㎡ 運動場面積 20,147㎡

教室棟築年数 47年～57年（令和8年4月時点）

案3 ふるさと総合文化公園周辺

建物敷地・運動場面積 13,900㎡（屋内運動場は別途建設）

（川南町運動公園の活用で、より広い教育環境を確保できる。）

教室棟築年数 新築（令和8年4月時点）

新中学校建設の候補地について ②

3つの案と各学校からの目安の通学距離

	川南小	通山小	東小	多賀小	山本小	唐中	国中
案1 唐中	1.8	6.1	2.6	6.3	3.1	—	5.5
案2 国中	4.4	1.9	7.0	4.0	7.6	5.5	—
案3 公園	2.1	3.5	4.5	5.2	5.3	3.2	2.9

候補地の選定

- 1 運動公園、文化ホール、図書館を日常的に教育に活用でき、教育環境が充実すること。
- 2 町の中心部に位置し、町内各所からのアクセスが最も良いこと。
- 3 中心付近に建設することで、国の有利な補助金の活用が見込めること。

以上のことから

「ふるさと総合文化公園周辺」に新中学校を設置したい。